

北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成22年1月
第17号

北海道及び室蘭市では、日本環境安全事業(株)(JESCO)が室蘭市仲町で操業を行っている北海道PCB廃棄物処理事業が安全、確実かつ適正に行われることを目的として、処理施設の整備や操業、情報公開の監視などを行う『北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議』を設置しています。

今回は、12月16日に開催された第17回監視円卓会議の内容を中心に、施設の稼働状況や事業の経過などについて、お知らせします。

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議(第17回)について

平成21年12月16日(水)午後2時より、PCB処理情報センター(室蘭市御崎町1-9)において、第17回監視円卓会議を開催しました。

会議には、学識経験者2名、団体委員6名、公募委員3名の計11名の委員のほか、オブザーバーとして、環境省、伊達市、JESCOなど関係者が出席し、事業の進捗状況や緊急事態等発生時の対応について報告を行い、それらに関する意見交換が行われました。

【会議の概要】

議 事

- 1 第16回監視円卓会議議事録について
平成21年8月25日に開催した第16回監視円卓会議の議事録が承認されました。
- 2 緊急事態等発生時の対応について
 - (1) 施設におけるトラブル事象等について
JESCOから施設で発生したトラブル事象やヒヤリハット活動などについて、報告がありました。その後、平成20年4月に整理した「緊急事態等発生時における連絡・公表区分の考え方」を見直すことについて、説明がありました。
 - (2) 環境モニタリング測定結果について
事務局から環境モニタリング測定結果について報告があり、その中で、ダイオキシン類が協定に基づく排出管理目標値を超過するおそれがあったことなどについて、説明がありました。
その後、JESCOから原因究明に関する調査の途中経過について概要説明がありました。
- 3 北海道事業の進捗状況等について
JESCOから、施設の稼働状況や浄化槽処理水の水質改善に関する取組などについて、報告がありました。

【円卓会議の様子】



● 主な報告事項等の内容

■ トラブル事象等について

① 報道のあった未報告トラブルについて

12月8日、道や市に未報告の施設内漏洩が3件あったという旨の報道がされました。そのトラブル事象の概要は次のとおりです。JESCOでは、いずれも漏れた液が微量であったことや安全対策として設置された装置の範囲内で収まっていることから、連絡・公表の必要がない事象として判断したものです。

月日	事象名	概要(原因、応急措置など)	対策
4/21	二次廃棄物ドラム缶からの分析廃液の漏洩	<ul style="list-style-type: none"> 二次廃棄物保管庫内ドラム缶内に保管されていたポリタンクが潰れ、中の分析廃液が漏れ、ドラム缶が腐食、缶外に漏洩 床面をふき取り、廃棄物は新しいドラム缶に入れ替え。 漏洩は微量、微量のPCBを含むものと推定 	<ul style="list-style-type: none"> ドラム管内でのポリタンクの縦積みを禁止 液体廃棄物のドラム缶内を全て確認
7/10	作業通路床面の壁際からの洗浄液のにじみ	<ul style="list-style-type: none"> コンデンサ素子押出装置から飛散した洗浄液が壁と床の隙間を埋める樹脂のひび割れ部分から作業スペースににじみ出たもの。 ひび割れ部分を補修し、アルミテープで養生 漏洩は微量、微量のPCBを含むものと推定 	<ul style="list-style-type: none"> 10月定期点検において、類似箇所を含め、コーキング部にアルミ製カバーを新設し、飛散した液はオイルパンに集まるようにした
8/31	車載トランス抜油・予備洗浄設備からの洗浄液の漏れ	<ul style="list-style-type: none"> 車載トランス洗浄作業中、洗浄液サンプリング後に気密検査用バルブが完全に閉まっていなかったことから300Lの洗浄液が漏洩。 ほとんどは集液パンを経由し、回収されたが、最終的に150mlが床面上オイルパンに漏洩 漏洩前洗浄液のPCB濃度は1480mg/kg 	<ul style="list-style-type: none"> 警報発生時の作業手順を見直し。 今後、バルブの開閉が自動で行われるようソフトを改造。

② 前回監視円卓会議以降のトラブル事象について(道・市に連絡のあった事象)

前回の会議以降、11月30日までに2件のトラブル事象が発生しました。その概要は次のとおりですが、いずれも作業員や外部への影響がない区分IV^{*}の事象でした。

※ 区分IV：環境への特段の影響はない事象、発生した翌月10日までに道及び市へ報告、その後PCB処理情報センターにて資料を供覧。

○ 金属管式レベル計清掃作業における洗浄油の漏洩及び被浴(発生：平成21年10月7日(水)14:25ごろ)

発生場所	処理棟1階 抜油装置室 No.2 コンデンサ用抜油受槽(管理区域レベル1)
概要	定期点検において、金属管式レベル計の清掃作業中、数十mlの洗浄液が漏洩し、作業員の左上腕部から手首にかけて、作業服の上から被浴。漏洩物のPCB濃度は0.2%。
原因	コンデンサ用抜油受槽内の圧力が大気圧より高かったことにより、受槽とレベル計をつなぐ配管のバルブを開いたとき、レベル計内の洗浄油に圧力がかかり、金属管式レベル計上部から漏洩。
対策	受槽内の圧力を確認、必要に応じ圧抜きをすることや受槽とレベル計をつなぐバルブを開くときに、レベル計に蓋をすることなどを作業手順に加えた。

○ 反応槽ポンプシール液のドレンラインからの漏洩(発生：平成21年11月10日(火)10:06ごろ)

発生場所	処理棟2階 液処理エリア(管理区域レベル1)
概要	異物の詰まりにより停止した反応槽ポンプ交換後、ポンプ本体に液張りをした際、ドレン出口からシール液が漏洩。約20Lが2階及び1階床面に漏洩。漏洩物にPCBは含まれていない。
原因	ドレン弁が十分に閉まっていなかった。
対策	修繕等で機器を系統から切り離す際の弁操作には、必ず開閉札を用いることとした。液張り用の作業手順書を作成し、作業員への再教育を行った。

■ 環境モニタリング結果(ダイオキシン類の排出管理目標値超過のおそれ)について

北海道、室蘭市及びJESCOでは、北海道PCB廃棄物処理事業において、適正かつ安全な処理が実施されていること及び周辺環境に影響をおよぼしていないことを確認するため、処理施設からの排出状況や周辺環境のモニタリングを実施しています。このたび、道が実施した排出源モニタリングにおいて、次のとおり排気のダイオキシン類が協定に定める排出管理目標値を超過するおそれがあったことから、道及び市ではJESCOに対し、「測定時の操業状況などを踏まえた原因究明及び結果報告」を指示しました。

○ 測定結果の概要(分析試料採取日：平成21年9月4日 分析機関：北海道環境科学研究センター)

測定場所	項目	単位	測定値	排出管理目標値
第1系統 排気	PCB	mg/m ³ N	0.000016	0.01以下
	ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.10	0.1以下

● 委員からの主な質問と意見

緊急事態等発生時における対応について

(質問) 委員

今回の報道については、新聞記者から記事になる直前に聞いた。事務局から連絡があったのは、報道から数日後だった。室蘭市、北海道はいつ知ったのか。

(回答) 北海道、室蘭市

報道前日に取材を受けて知った。今回は、現在の公表区分に当てはまらないとして、通報を受けていなかったもの。すぐに現地に行き、内容を確認した。

(意見) 委員

11月のトラブルなど、原因がヒューマンエラーというが、なぜヒューマンエラーが起きたのかを整理すべき。ヒヤリハットでもリスクを拾い出すという取組がない。

(意見) 委員

情報について、JESCOでスクリーニングしている。報道の300件について、分析をした結果ではなく、生のデータがみたい。

(意見) 委員

情報公開について、室蘭市では、全部出すと不安がおられるというようなことを言っていたが、そんなことはない。全部公開すべき。

(意見) 委員

ヒヤリハットや気がかりも件数だけでなく、安全対策などの内容を出してほしい。

(意見) 委員

4月21日と7月10日の件については、PCB濃度が未測定。これで済むのか。十分な対策をとってほしい。

(質問) 委員長

設備トラブルやヒューマンエラーなど、新聞記事では300件超とのこと。JESCOと運転会社はどのような体制をとっているのか。

(回答) JESCO

運転会社からは、不具合などの報告は受けているが、JESCOとしては、施設が止まるようなものをリスト整理している。配管詰まりの清掃やポンプの異常音、ファンベルトの取り換えなどは不具合として整理しているため、JESCOのリストにはない。

(意見) 委員長

8月31日の件は、オイルパンの上でとどまっているが、そもそも漏れるのは設計思想のミス。設計を直すのであれば、報告すべき。再発防止策等をどのように行うのか、次回報告していただきたい。

(意見) 副委員長

あまり細かいものまでプレス発表して、PCBが漏洩したと報道されると、施設外に出たととられる。フェイルセーフが知られていない。区分を細かくしてもあいまいなところは残る。次回は、一度現場で出てきた不具合などを全部見て、判断したい。

(意見) 委員

他の事業所でも同じようなことは起きる。施工ミスがないのか、もう一度確認してほしい。

排出源モニタリング結果について

(意見) 委員

道では、10月中旬に数字を確認したあと、数値があまりに大きいので、再精査していたと言う。対策をとると、再精査は同時に行うべき。

(意見) 委員

今回は、ダイオキシン類だけが異常に高い。PCBと関連がないのであれば、トラブル時などでも、PCBだけでなく、ダイオキシン類も測るべき。

(意見) 副委員長

ダイオキシンについては、5月のJESCOの測定値でも少し高い値(0.020ng-TEQ/m³N)が出ている。対策として、活性炭の交換などが考えられる。

また、活性炭の前後で測定した、活性炭の吸着能力を確認できるデータを示していただきたい。

(質問) 委員

使用していた活性炭を分析することはできないのか。活性炭の能力を誰も教えてくれない。ダイオキシンを吸着できないのでは、とも言われている。

(回答) JESCO

6月に交換した活性炭が保管されているので、できるようであれば、分析してみたい。

(意見) 委員長

PCB、ダイオキシンについて、定期的に活性炭の前後で測定して、吸着量の変化をみるなど、積極的に調べていただきたい。トラブル時にPCBとダイオキシンの両方を測ることなど、次回までに検討していただきたい。

また、道とJESCOの両方が同時に測定することも検討していただきたい。

(意見) 委員

次回、1月に道のモニタリングを実施としているが、異常な値が出た時には、決められた月以外にも、速やかに再測定を行っていただきたい。

その他

(質問) 委員

稼働率が低い。安全・安心は分かるが、まだこのままいくのか。早く稼働率を上げないと、期限までにできないのでは。

(回答) 環境省

全国5カ所において、処理開始当初は安全第一で稼働率を抑え、その後、稼働率を上げている。JESCOでは、これまでの経験等を踏まえ稼働率アップに向けた取組を行っており、安全を重視した上で、稼働率向上を進めるよう申し伝えている。

主な報告事項等の内容 (2ページから続き)

「緊急事態等発生時における連絡・公表区分の考え方」の見直しについて

JESCOでは、これまで、第11回円卓会議(H20.4.25)において承認された「緊急事態等発生時における連絡・公表区分の考え方」(H21.6一部改訂)に基づき、トラブル発生時の連絡・公表を行っていましたが、2頁で紹介したとおり、JESCOが報告の必要がないと判断した事象などが報道されたことにより、市民の方々にご心配をかける結果となりました。今後市民の方々に、北海道処理事業が安全に行われていることを理解していただくため、次の4点について、JESCOから提案がありました。

判断基準を明確化するため、道・市と協議し、連絡・公表区分を見直す(次回会議に報告)

が終了するまで、これまでの区分に該当しない不具合についても定期的に道・市に連絡し、PCB処理情報センターで閲覧する。

今回報告した事象を含め、これまでの不具合を再点検する(次回会議に報告)

ヒヤリハットについて、定期的に内容を充実させた報告を行う。

処理施設の稼働状況について(平成21年度実績:11月末現在)

PCB廃棄物の受入・処理状況

	トランス類(台)		コンデンサ類(台)		PCB油類(本) ¹		合計	
	道内	道外	道内	道外	道内	道外	道内	道外
受入状況	107	95	786	2,447	-	1	893	2,543
処理状況 ²	193(476)		3,079(5,578)		2(398)		3,274(6,452)	

1 PCB油類はドラム缶の本数

2 処理状況は抜油ベース(カッコ内は平成21年度の計画数値) 受入台数<処理台数となっているのは、前年度受入分を処理したため

PCBの液処理量 110,059kg

北海道事業の進捗状況について(最新の話など)

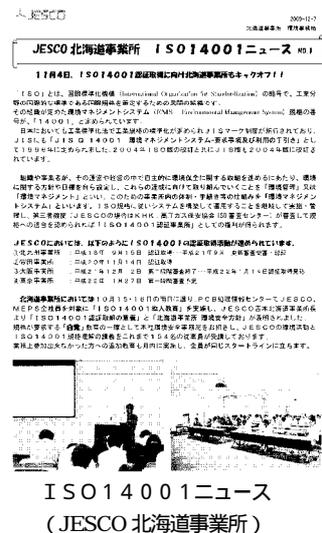
北海道PCB廃棄物処理事業の経過(平成21年8月25日以降)

10月1日~31日 定期点検

10月8日 総合防災訓練

11月4日 ISO14001 認証取得のためのキックオフ

JESCOにおいては、自主的に環境保全に関する取組を進めるため、各事業所において、環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得に向けた取組を進めています。先行事業所のうち、北九州及び豊田においては、既に認証を取得しており、大阪・東京においても取得に向けた取組がはじまっています。北海道でも、キックオフミーティングで「環境安全方針」を全従業員に周知し、環境マネジメントシステムの構築を開始しました。



PCB廃棄物処理事業に関するお問合せ

日本環境安全事業株式会社 北海道事業所

〒050-0087 室蘭市仲町14番地7

TEL: 0143-22-3111 FAX: 0143-22-3001

<http://www.jesconet.co.jp/>

PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問合せ

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL: 011-231-4111(内24-312)、011-204-5196(ダイヤル) FAX: 011-232-4970

E-mail: kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp

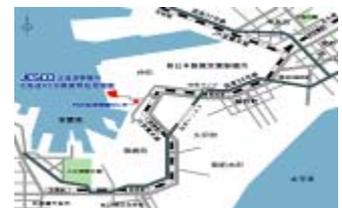
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/index.htm>

室蘭市生活環境部リサイクル清掃課

〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目75番7号

TEL: 0143-22-2861 FAX: 0143-22-7148 E-mail: haikibutsu@city.muroran.lg.jp

<http://www.city.muroran.lg.jp/main/index.php>



「円卓会議だより」や円卓会議の会議資料は、北海道のホームページでご覧いただけます。

また、この「円卓会議だより」は、室蘭市の各サービスセンターでも配布しています。